



2019年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)



2019年7月31日

上場会社名 サイオス株式会社 上場取引所 東
 コード番号 3744 URL http://www.sios.com/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 喜多 伸夫
 問合せ先責任者 (役職名) 常務執行役員 (氏名) 小林 徳太郎 (TEL) 03-6401-5111
 四半期報告書提出予定日 2019年8月9日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家、アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2019年12月期第2四半期の連結業績 (2019年1月1日～2019年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年12月期第2四半期	6,914	10.3	38	△70.0	70	△46.5	△20	—
2018年12月期第2四半期	6,270	0.7	127	△26.5	131	△28.5	79	△12.0

(注) 包括利益 2019年12月期第2四半期 △36百万円(—%) 2018年12月期第2四半期 58百万円(△9.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年12月期第2四半期	△2.32	—
2018年12月期第2四半期	9.17	9.11

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2019年12月期第2四半期	5,386	1,333	24.0
2018年12月期	5,330	1,359	24.8

(参考) 自己資本 2019年12月期第2四半期 1,292百万円 2018年12月期 1,319百万円

(注) 「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号2018年2月16日)等を第1四半期会計期間の期首から適用しており、前事業年度に係る総資産及び自己資本比率については、当該会計基準等を遡って適用した後の数値となっております。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年12月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2019年12月期	—	0.00	—	—	—
2019年12月期(予想)	—	—	—	5.00	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2019年12月期の連結業績予想 (2019年1月1日～2019年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	13,200	3.1	200	△31.2	210	△32.4	140	△38.0	16.18

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2019年12月期2Q	8,874,400株	2018年12月期	8,874,400株
② 期末自己株式数	2019年12月期2Q	205,768株	2018年12月期	224,268株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2019年12月期2Q	8,668,632株	2018年12月期2Q	8,630,042株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P3「(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

※ 本資料に記載されるサービス・商品名等は、当社又は各社等の登録商標又は商標です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(追加情報)	9
(セグメント情報)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

<当第2四半期連結累計期間の概況>

当社グループが属するIT業界では、新たな技術革新の波が同時並行で進展し、新規の事業機会が次々に誕生する外部環境となっています。このような中、当社グループは、中期経営計画において2021年までを事業基盤を固める3年間と位置づけ、IT業界をリードするインフルエンサーを目指し、研究開発投資を始めとした戦略的施策を着実に実行しています。

この結果、各セグメントの業績は、次のとおりとなりました。

① オープンシステム基盤事業

主力製品の「LifeKeeper」(*1)は、好調な増収となりました。また、Red Hat Enterprise Linux(*2)をはじめとするRed Hat, Inc. 関連商品(*3)は堅調な増収となりました。これらにより、売上高は3,893百万円（前年同期比9.9%増）となりました。

利益面では、既存の「LifeKeeper」に昨年12月に吸収合併した株式会社サードウェアの製品ラインナップを加えた事業継続ソリューションの業績が好調に推移したこと等から、セグメント利益は46百万円（同128.2%増）となりました。

② アプリケーション事業

金融機関向けシステム開発・構築支援は、好調な増収となりました。MFP向けソフトウェア(*4)製品及び「Gluegentシリーズ」(*5)も順調な増収となりました。一方、金融機関向け経営支援システム販売は、下期主体で見込んでいることから、前年同期比では減収となりました。これらにより、売上高は、3,021百万円（前年同期比10.8%増）となりました。

利益面では、利益率の高い金融機関向け経営支援システム販売の減収、金融機関向けシステム開発・構築支援における不採算案件の発生により、セグメント損失は7百万円（前年同期は107百万円の利益）となりました。

なお、研究開発の成果として、サブスクリプション(*6)ビジネスを支援するプラットフォーム「SIOS bilink」のβ版の提供開始、MFP向けソフトウェア製品の画像解析技術によって文書内の秘密印を検知し通知するサービス「AI秘密印検知サービス」の提供を予定しています。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は6,914百万円（前年同期比10.3%増）となり、過去最高の半期売上高を達成いたしました。

利益面では、上述の通り、オープンシステム基盤事業は増益となりましたが、アプリケーション事業の減益により、営業利益は38百万円（前年同期比70.0%減）、経常利益は70百万円（同46.5%減）となりました。子会社の繰延税金資産の取崩しを実施したこと等により、税金等調整前四半期純利益71百万円に対して、法人税等合計が91百万円となったことから、親会社株主に帰属する四半期純損失は20百万円（前年同期は79百万円の純利益）となりました。

また、当社グループの重視する経営指標であるEBITDA（営業利益＋減価償却費＋のれん償却額）とROIC（年率換算数値、税引後営業利益÷（株主資本＋有利子負債））は、次のようになりました。

EBITDA：82百万円（前年同期比50.3%減）

ROIC（年率換算数値）：2.4%（前年同期は8.1%）

(*1) LifeKeeper

本番稼働のサーバーとは別に同じ環境の予備サーバーを待機させ、万が一の障害の際には自動的に予備サーバーに業務を引き継がせる役割を担うソフトウェア。

(*2) Red Hat Enterprise Linux

オープンソースソフトウェア&サービス・プロバイダーRed Hat, Inc. が開発するLinux OS。

(*3) Red Hat, Inc. 関連商品

オープンソースソフトウェア&サービス・プロバイダーRed Hat, Inc. が開発するオープンソースの製品。

(*4) MFP向けソフトウェア

プリンタ、スキャナー、コピー、FAX等複数の機能を搭載した機器をMFP(Multifunction Peripheralの略)という。MFP上で利用できる文書管理ソフトウェア「Quickスキャン」「Speedoc」等。

(*5) Gluegentシリーズ

IDの管理をクラウドで行うサービス「Gluegent Gate」をはじめ、Google Calendarにチームメンバーの予定管理機能等を付加した「Gluegent Appsグループスケジューラー」等、企業におけるクラウドを利用した業務効率化等を支援するサービス。

(*6) サブスクリプション

ソフトウェア等の製品・サービスを、利用量に応じて従量課金する課金モデル。

(2) 財政状態に関する説明

①資産

流動資産は、現金及び預金の増加333百万円、受取手形及び売掛金の減少80百万円、仕掛品の減少75百万円等の要因により、4,451百万円（前連結会計年度末比1.5%増）となりました。

固定資産は、ソフトウェア仮勘定の増加16百万円、ソフトウェアの増加10百万円、有形固定資産の減少18百万円等の要因により、935百万円（同1.2%減）となりました。

この結果、総資産は、5,386百万円（同1.0%増）となりました。

②負債

流動負債は、前受金の増加202百万円等の要因により、3,291百万円（前連結会計年度末比4.3%増）となりました。

固定負債は、長期借入金の減少66百万円等の要因により、762百万円（同6.6%減）となりました。

この結果、負債合計は、4,053百万円（同2.1%増）となりました。

③純資産

純資産合計は、当四半期において親会社株主に帰属する四半期純損失20百万円を計上したこと等の要因により、1,333百万円（前連結会計年度末比2.0%減）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

上半期の金融機関向けシステム開発・構築支援における不採算案件の発生による減益は収束し、下半期は回復の見込みです。また、金融機関向け経営支援システム販売における減収減益については、下半期は増収増益を見込んでおります。

つきましては、2019年2月5日に公表した2019年12月期の業績予想から、変更はございません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,138,821	2,472,535
受取手形及び売掛金	1,613,603	1,533,178
仕掛品	132,680	56,834
前渡金	155,332	212,588
その他	343,735	176,343
貸倒引当金	△200	△200
流動資産合計	4,383,972	4,451,280
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	135,774	122,489
その他（純額）	85,605	80,518
有形固定資産合計	221,380	203,007
無形固定資産		
のれん	1,644	1,215
ソフトウェア	35,791	46,074
ソフトウェア仮勘定	49,931	66,407
その他	2,363	2,139
無形固定資産合計	89,730	115,836
投資その他の資産		
投資有価証券	309,148	314,429
退職給付に係る資産	39,574	40,989
差入保証金	216,956	209,639
その他	74,887	56,364
貸倒引当金	△5,071	△5,071
投資その他の資産合計	635,495	616,350
固定資産合計	946,606	935,195
資産合計	5,330,579	5,386,475

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	576,123	661,975
短期借入金	50,000	50,000
1年内返済予定の長期借入金	133,116	133,116
リース債務	6,710	7,408
未払法人税等	44,951	55,822
前受金	1,730,552	1,932,829
賞与引当金	39,141	21,887
受注損失引当金	36,864	680
その他	537,125	427,461
流動負債合計	3,154,585	3,291,179
固定負債		
長期借入金	545,923	479,365
退職給付に係る負債	214,916	217,277
リース債務	15,448	14,752
長期預り金	11,632	11,632
その他	28,467	39,204
固定負債合計	816,388	762,231
負債合計	3,970,973	4,053,411
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,481,520	1,481,520
資本剰余金	472,257	-
利益剰余金	△429,287	25,009
自己株式	△95,038	△87,198
株主資本合計	1,429,451	1,419,330
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	90,497	90,287
為替換算調整勘定	△200,465	△216,957
その他の包括利益累計額合計	△109,967	△126,670
新株予約権	40,121	40,404
純資産合計	1,359,605	1,333,064
負債純資産合計	5,330,579	5,386,475

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年1月1日 至2018年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年1月1日 至2019年6月30日)
売上高	6,270,760	6,914,723
売上原価	4,214,511	4,789,986
売上総利益	2,056,249	2,124,736
販売費及び一般管理費	1,928,630	2,086,416
営業利益	127,618	38,319
営業外収益		
受取利息	5,973	6,382
為替差益	9,365	27,166
貸倒引当金戻入額	4,748	-
持分法による投資利益	708	5,785
業務受託料	1,200	1,200
その他	6,274	2,403
営業外収益合計	28,270	42,939
営業外費用		
支払利息	2,185	1,981
投資事業組合運用損	4,733	12
デリバティブ評価損	17,095	8,272
その他	0	435
営業外費用合計	24,014	10,701
経常利益	131,874	70,557
特別利益		
子会社清算益	8,350	-
新株予約権戻入益	-	450
特別利益合計	8,350	450
特別損失		
固定資産除却損	22	-
投資有価証券評価損	12,954	-
特別損失合計	12,976	-
税金等調整前四半期純利益	127,248	71,008
法人税、住民税及び事業税	28,787	61,501
法人税等調整額	19,301	29,637
法人税等合計	48,089	91,138
四半期純利益又は四半期純損失(△)	79,159	△20,130
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	79,159	△20,130

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年1月1日 至 2018年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	79,159	△20,130
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	2,145	△209
為替換算調整勘定	△22,344	△16,168
持分法適用会社に対する持分相当額	-	△324
その他の包括利益合計	△20,198	△16,702
四半期包括利益	58,960	△36,832
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	58,960	△36,832

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年1月1日 至2018年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年1月1日 至2019年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	127,248	71,008
減価償却費	37,669	43,823
のれん償却額	995	428
受取利息及び受取配当金	△6,334	△6,676
支払利息	2,185	1,981
投資事業組合運用損益(△は益)	4,733	12
持分法による投資損益(△は益)	△708	△5,785
売上債権の増減額(△は増加)	△959	76,166
たな卸資産の増減額(△は増加)	△66,843	77,205
仕入債務の増減額(△は減少)	96,716	85,851
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△8,438	2,360
前受金の増減額(△は減少)	296,996	216,415
前渡金の増減額(△は増加)	△22,767	△57,256
未払消費税等の増減額(△は減少)	△41,622	△99,752
その他	△64,403	80,019
小計	354,468	485,802
利息及び配当金の受取額	6,334	6,676
利息の支払額	△2,185	△1,981
法人税等の還付額	-	53,157
法人税等の支払額	△103,171	△93,641
営業活動によるキャッシュ・フロー	255,446	450,014
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△130,000	△130,000
定期預金の払戻による収入	130,000	130,000
有形固定資産の取得による支出	△35,496	△7,846
無形固定資産の取得による支出	△21,905	△40,537
差入保証金の差入による支出	△3,710	△594
差入保証金の回収による収入	5,112	2,647
投資有価証券の取得による支出	△15,000	-
その他	9	1,087
投資活動によるキャッシュ・フロー	△70,991	△45,243
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△50,000	-
長期借入金の返済による支出	△66,558	△66,558
その他	4,694	6,466
財務活動によるキャッシュ・フロー	△111,863	△60,091
現金及び現金同等物に係る換算差額	△9,838	△10,965
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	62,753	333,713
現金及び現金同等物の期首残高	2,249,099	2,008,821
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,311,852	2,342,535

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2019年3月28日開催の第22回定時株主総会の決議により、同日付で会社法第452条の規定に基づき、その他資本剰余金を480,279千円減少し、繰越利益剰余金に振り替え、欠損填補を行っております。

なお、株主資本の合計金額には、著しい変動はありません。

(追加情報)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 2018年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2018年1月1日 至 2018年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結損益 計算書計上額 (注)
	オープンシステ ム基盤事業	アプリケー ション事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	3,543,670	2,727,000	6,270,670	90	6,270,760
セグメント間の内部売上高 又は振替高	8,753	2,246	11,000	△11,000	—
計	3,552,423	2,729,247	6,281,671	△10,910	6,270,760
セグメント利益	20,193	107,335	127,528	90	127,618

(注) セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

(参考情報)

地域に関する情報

当社では、「四半期財務諸表に関する会計基準」で要求される開示に加え、財務諸表利用者には有用な情報を提供するため、「セグメント情報等の開示に関する会計基準」等に基づく地域に関する情報(売上高)を開示しております。

売上高

前第2四半期連結累計期間(自 2018年1月1日 至 2018年6月30日)

(単位：千円)

日本	米州	欧州	その他の地域	計
5,886,587	282,531	59,285	42,356	6,270,760

(注) 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間(自 2019年1月1日 至 2019年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結損益 計算書計上額 (注)
	オープンシステ ム基盤事業	アプリケー ション事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	3,893,255	3,021,347	6,914,603	120	6,914,723
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	475	475	△475	—
計	3,893,255	3,021,823	6,915,078	△355	6,914,723
セグメント利益 又は損失(△)	46,087	△7,887	38,199	120	38,319

(注) セグメント利益又は損失(△)の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

(参考情報)

地域に関する情報

当社では、「四半期財務諸表に関する会計基準」で要求される開示に加え、財務諸表利用者に有用な情報を提供するため、「セグメント情報等の開示に関する会計基準」等に基づく地域に関する情報(売上高)を開示しております。

売上高

当第2四半期連結累計期間(自 2019年1月1日 至 2019年6月30日)

(単位：千円)

日本	米州	欧州	その他の地域	計
6,472,353	317,015	91,337	34,016	6,914,723

(注) 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。